

# 攻撃側がボールを蹴って行う易しいゲーム（キックベースボール）

学習指導要領解説 〈技能に関する学習内容 p.53〉

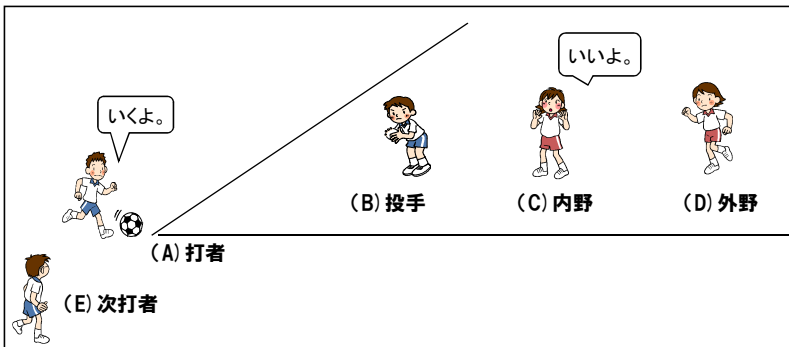
- ・ボールをフェアグラウンド内に蹴ったり打ったりすること。
- ・投げる手と反対の足を一步前に踏み出してボールを投げること。
- ・向かってくるボールの正面に移動すること。
- ・ベースに向かって走り、かけ抜けること。

単元計画

時間	1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目	6時間目	7時間目	8時間目	備考	
導入	5分	集合・整列・挨拶・準備体操・学習のめあて								・大会の時間は設定していないため、メインゲームの結果を記録して、リーグ戦の形としてもよい。 ・雨天等により体育館で行う場合は、ボールの硬さや飛距離など、安全面に配慮した用具を使用する。
活動1	15分	オリエンテーション	ドリル スロー&キャッチ ローテーションゲーム	ドリル スロー&キャッチ タスク① 5対5連係ゲーム (置いたボール/1塁)	タスク②	ローテーションゲーム 5対5連係ゲーム (置いたボール/1・3塁)				
活動2	20分	ドリル説明 スロー&キャッチ ローテーションゲーム	タスク① 説明&実践 5対5連係ゲーム	メイン① 5対5ゲーム (転がしたボール/1塁)	メイン②	5対5ゲーム (転がしたボール/1・3塁)				
まとめ	5分	学習のまとめ								

ドリル ★個人技能を高めるゲーム

## ローテーションゲーム



【主な規則】

- ・1チーム5人。
- ・打者(A)→投手(B)→内野(C)→外野(D)→次打者(E)の順に行く。
- ・最初はボールを置いて蹴る。
- ・慣れてきたら、投手がボールを転がして蹴る。
- ・捕球したボールは、中継しながら協力して次打者に送球する。
- ・打者が2球蹴り終わったら、A→B→C→D→Eの順にローテーションをする。

※教材・シナリオ

【指導のポイント】

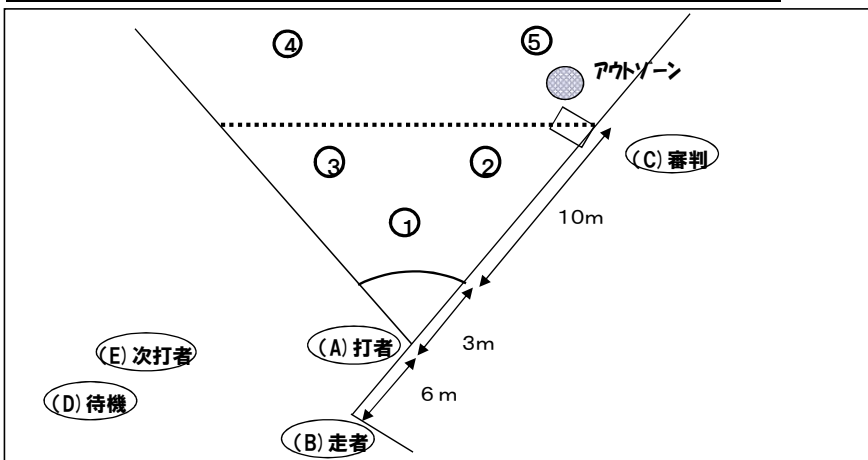
- ・ボールをよく見て、前方に蹴る。

【評価のポイント】

- ・打者は軸足をしっかりと踏み込み、ボールを最後まで見ながら、まっすぐ足を蹴る。

メイン① ★個人技能を試すゲーム

## 5対5ゲーム（転がしたボール・1塁）



【主な規則】

- ・1チーム5人。
- ・攻撃は、打者(A)→走者(B)→審判(C)→待機(D)→次打者(E)の順に行く。
- ・打者は、①が転がしたボールを足で蹴る。
- ・走者は、打者がボールを蹴ったら1塁へ走る。
- ・守備は、捕球したらアウトゾーンへ送球する。
- ・得点は、ボールが走者より先にアウトゾーンに送球されたらアウトで0点。走者がボールより先に1塁を駆け抜けたらセーフで1点。
- ・審判がアウトかセーフか判断する。
- ・チーム全員が蹴ったら攻守交代する。

※教材・シナリオ

【指導のポイント】

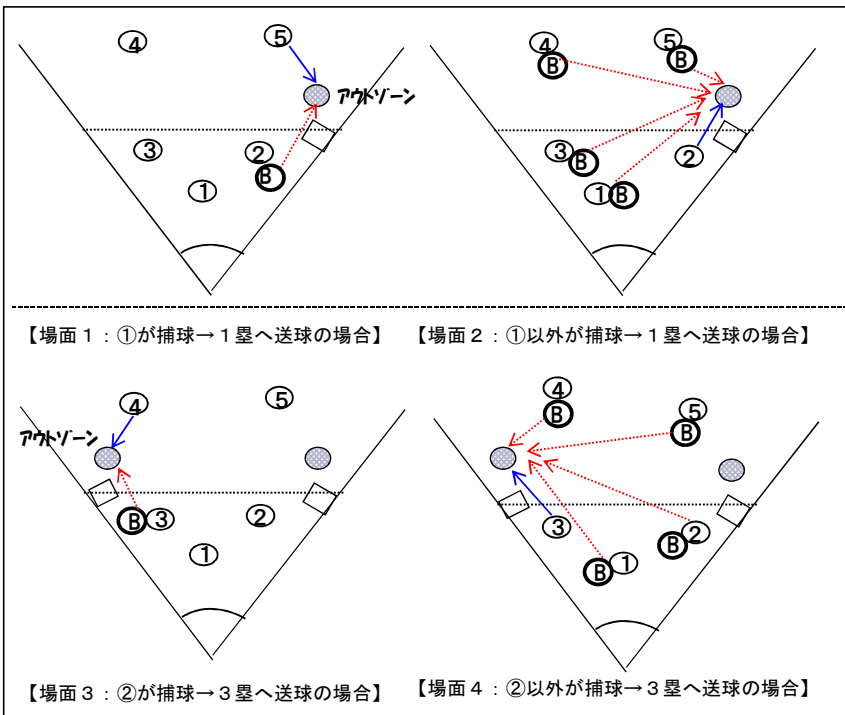
- ・守備：ボールの正面に動いて捕球し、送球する。

【評価のポイント】

- ・守備：ボールの正面に動いて捕球し、相手が捕りやすいボールを考えながら送球する。

**5対5運球ゲーム (①置いたボール／1塁 (②置いたボール／1・3塁)**

図中の記号: ○ 守備者 (B) ボール → 人の動き - - - -> ボールの動き



【場面1：①が捕球→1塁へ送球の場合】 【場面2：①以外が捕球→1塁へ送球の場合】

【場面3：②が捕球→3塁へ送球の場合】 【場面4：②以外が捕球→3塁へ送球の場合】

**【指導のポイント】**

- ・ 守備：なるべく早く1塁／1塁・3塁のアウトゾーンへ送球するために、自分の役割を考えて動く。

**【評価のポイント】**

- ・ 守備：ボールの位置から、アウトをとるために必要な動きを考え、動くことができる。

**【共通の規則】**

- ・ 1チーム5人。兄弟チームで協力して練習。
- ・ 打者は、守備位置を見て、置いてあるボールを蹴る。蹴った後は走らない。

**【タスク① 主な規則】**

- ・ 守備はボールを捕球したら、1塁のアウトゾーンへ送球する。
- ・ ②が捕球した場合（左図：場面1）→⑤が1塁のアウトゾーンに入る。→それ以外の人の中継やカバーをする。
- ・ ②以外が捕球した場合（左図：場面2）→②が1塁のアウトゾーンに入る。→捕球やアウトゾーンに入った人以外は中継やカバーをする。

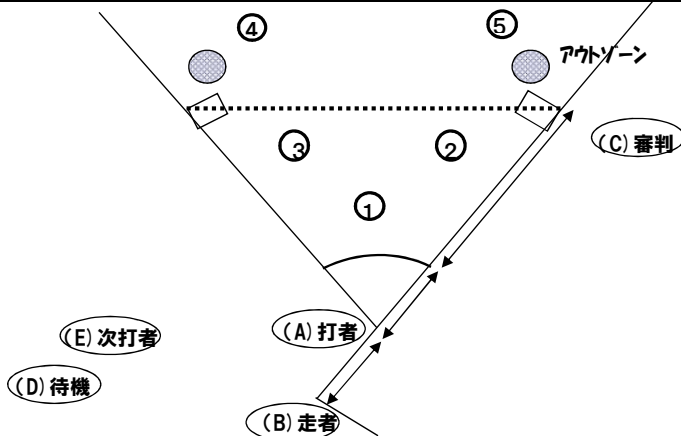
[※教材・シナリオ](#)

**【タスク② 主な規則】**

- ・ 守備はボールの落下地点に応じて1塁か3塁のアウトゾーンを判断して送球する。
- ・ タスク①に以下の動きを加える。
- ・ ③が捕球した場合（左図：場面3）→④が3塁のアウトゾーンに入る。→それ以外の人の中継やカバーをする。
- ・ ③以外が捕球した場合（左図：場面4）→③が3塁のアウトゾーンに入る。→捕球やアウトゾーンに入った人以外は中継やカバーをする。

[※教材・シナリオ](#)

**5対5ゲーム (転がしたボール／1・3塁)**



**【指導のポイント】**

- ・ 攻撃：走者は全力で1塁から3塁へ走る。
- ・ 守備：走者よりも先のアウトゾーンを判断して送球する。

**【評価のポイント】**

- ・ 攻撃：走者は全力で1塁から3塁へ、塁のまわり方を考えながら走ることができる。
- ・ 守備：走者の位置を確認しながら、走者よりも先のアウトゾーンを判断して送球できる。

**【主な規則】**

- ・ 1チーム5人。
- ・ 攻撃は、打者(A)→走者(B)→審判(C)→待機(D)→次打者(E)の順に行う。
- ・ 打者は、①が転がしたボールを足で蹴る。
- ・ 走者は、打者が打ったら1塁から3塁へと走る。
- ・ 守備は、ボールを捕球したら走者よりも先のアウトゾーンを選択して送球する。
- ・ 得点は、ボールがアウトゾーンに送球されるまでに走者が進んで塁の数だけとする。
 

1塁アウト	・・・	0点
1塁セーフ、3塁アウト	・・・	1点
1塁セーフ、3塁セーフ	・・・	2点
- ・ 審判は、アウトかセーフか判断する。
- ・ チーム全員が蹴ったら攻守交代する。

[※教材・シナリオ](#)

**準備するもの**

- ・ サッカーボールまたはドッジボール（1号球～2号球）
- ・ ケンステップ（アウトゾーンで利用）
- ・ 塁ベース
- ・ ピブス
- ・ ラインカー
- ・ 得点板